



第630号

発行所

天理教静岡教務支庁

₹425-0013 焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333 FAX (054) 628-4615 Email:skyou@live.jp

教区報は、下のQR コードより、スマー トフォン等で、ご 覧頂けます。



柔直に通ろう ただ *

周教已長 鈴木

年中は依然として世界の神にも、教会長はじの神にも、教会長はじめ教区管内の皆様方のの御用を恙無くつとめのの御用を・無くつとめいらせていただく事情ができました。誠にあ でのの源地 でとうござい 震がありました。 がとうございました。 めりました。震朝づとめ中に 私たち

は当たり

布

ある沼津でも震度3 を観測したそう 私は鈍感なのか、 づきませんで とでした。キューそれからだいぶ後のこっそれからだいぶんのは、 う来たか」と最悪の 起きるたびに「とうと とでした。今も地震が 地域では当たり前でなたびありました。他の 態を想像してしまい やはり

そして、

後が

「オ

にでもできることな

11

からす

揺れ

地は

Щ

·団の代わりに敷くの ・椅子に防災頭巾を座 底されてきました。 備えと覚悟を周知 避難訓練もたび 前のことでし から東海地震岡県人は、何 「雷」も何時どこに落ちるか分かりませんが、ちるか分かりませんが、すロゴロと音が聞こえてくると危ないと分かのませんが、てくると危ないとから雷でくると危ないとのが、 事」も怖いものでな番目になります。 あるように、 火の用心という言葉が のですが、

私が小学生の

頃、

から県

かつて二代真柱様 えをこう表しましたが 起こされました。 んでいるのだ」と話 「これは怖い順 の人は怖 火事・ 葉があります。 オヤジ」 いも 番に並 のの例 地 は、

たもの

っです。

雷オヤジ

とされる」などと言っ られることを「雷を落 えるかもし

れませんが、

お

父さんは怖か

親から怒

という言葉もありまし

なので、三番目に怖れば大抵は防げるも 別げるもの用心があ 行はその気にか ます。 ます。 るのです。 うにするにはどうし や雷とは違い、 考えてみますと、 通り方だって知って い通り方を分かって ら良いのかを知って は親から怒られない と話を結ばれたのです。 せていただきましょう」 心配かけないよう通ら されないように、 めて親からは雷を落と 親に喜んでもらう 代真柱様は、 ですから、 親に心配 今からでも誰 。 それどころ に心配かけな かってい なったの 私たち 地 親に

ょ

の思召によるも

はなく、 せていただきたいもの かりを先に立てるので いただくお互 る事情なのだと教えて であります。 ころから、親に喜んで にもたれて、 配くださる親心からな あり、 ただく道に舵を切ら 本年十月の本部 いたずらに不安ば しっかりと親 私たちをご心 出来ると いですか 秋季

りであ から申せば、 布されることになりま 様より『諭達』 また地 べつ向かれば、対 は、これまで通 域活 本年は 教祖百四 \\ \\ がご発 動の上 真柱

斉ひのきしん

口の年なのです。四十年祭へ向かう 本年は、 てい ぢばに心を揃え歩ませ 神恩報謝の心を高 に提唱九十年を迎える \bar{o} ただく旬であ が 年でもあります。 いわば教祖百 デー」が、 的かう入 ŋ, 斉に 令和四

全体会

議

斉ひの 重 要な 動

度教区予算可

0

に歩む同士として、励住まい、教祖の道を共あります。同じ地域に たく存じます。 合って、 この ただく道を素直に通る 足りないところを補い まし合い勇ませ合い、 す。地域活動の本旨は、毫が掲げられておりま すけあい」というご揮 年とさせていただき 一代真柱様による「た 教務支庁の神殿には 「たすけあい」に 難しい状況の 親にご安心い

新幹線の

拶とさせていただきま 変わらぬお力添えをお いいたし、 本年も教友皆様方の どうかよろしくお たします。 年初の挨

> た。冒頭、挨 事が進められ 長の進行で議 議とな 線路点検のた 祖·祖霊 拶に立った鈴 太郎教! 走行する黄色 め極々たまに 木道輝教区長 親神様・ 教区長を芯

催され 支庁にて全体会議が開 あるが、 少々落ち着いた中では 方委員、各会代表者 |密」を避け、 時三十分より教務 一月二十 状況を鑑み、 コロナ禍も 九 二名の 日 支部 午前

なれる、幸運にた人というのは 言うが、 八や流れ! 勝を ターイエロ ルトスワロー ターイエロー」とヤ バー 例に挙 、星や四点 などを見つけ い新幹線 1 -を見た イ イ]葉のク -ズ全国] ド ド

> たちは信仰のおかげで、をちは信仰のおかが見えないか、私見えないか、私見えないが見えいかというのは幸運のとたと思う。私たちの ただいています。今の道というのを教えてい 教祖 このことの裏返し。 日本ということを考え 沈んだコロナ禍にある さずに、感謝して通る ものは滅多に来な 幸運というものを見逃 ここに集まることが であるから、こうして を合わせることも、 日、こうしてお互 く昔からこんなことが れも幸運だから、元気 を返せば、 言われていたの のおかげで、その になる力などな 幸運と 1 今 顔 裏 で をいがけデーの翌月に来年です。そして、に年の節目を迎えるのがれてからちょうど九十 ら、来年四月からおぢうのを進めていく上か デー」、これが提唱さ 成人、育成、丹精とい まずは教会長さん方の 定です。 **諭達がご発布される予** 百四十年祭に向かって、 向かって、真柱様から 「全教一斉にをいがしんデー」、九月の 教祖百四十年祭に

本部でも教祖

区長室

鈴木顕

必要としている方といたならば、この教えを うのはたくさんいらっ 体としての大変重要な とを改めて思わせてい しゃるなあ、というこ 年だと考えておりま ばで「教会長夫妻特別 図っていこうという動 の支部で行われている さら教会長さん方の成 講習会」が行われるこ 人の上から、 おぢばの月次祭で 進んでおります。 例会の内容充実を えになりました。 同に集まる機会 それぞれ

その支部例会がただ単 がそこで教えに触れる で終わったの 良い場だと思います。 会と比べても、非常に とになり、 毎月集まる場というこ セント以上 るとは言え、 い教会長さんがおられ 連絡事 もらえるような場を 項、 他のどの機 の教会長が 五十パー ではもっ 伝達事項

は地域の上から生作っていこうとす ております。 を進めて頂こうと考え 様方にもこれから相談 せていただく、また、 おぢばの声に添って皆 いこうと来年度 り進めさ

方委員

れませんけれども、だ がやってくる一年であ から出来ない、難しい から出来ない、難しい くコロ しっかりと心に置いて、 あります。まだまだ続 祭に向かう入口の年で 来年は教祖百四十年 ナ禍の中かもし

ませていただき とあいさつされ たく存じます。」 静岡教区、一手 て成人の道を歩 つに心を揃え

磨会計室長より
庁の予算審議が 進められ、永井門会の予算審議がでの予算審議がで教務支 内容の発 明があり、 、て出席

年会教区団長より、 可 地 いて各部から発 村田孝浩少

れ、出動準備は出来て熱海の土石流災害に触ず七月三日に発生した れ 殊な事情により出動出いたものの、現場の特 集い」を開催する旨を か育成への取り組みとが中止となる中、何と ロナ禍のため「こども年に引き続き本年もコ われた「小笠山運動 先日十月三十一日に行 来なかったこと、 続いて災救隊より、 発表、説明がなされた。 して三月に「わかぎの 会総会」など育成行事 おぢばがえり」「少年 また ま 昨 公

報告した。つづいて学 亰 の隊員が勇んでひのき (エコパ)」での訓 七十七名 活動が停 関係者

より、この度本部布教続いて「道の教職員」とともに発表された。 同 0 て 窓会」が募集要項 発 掘 サ た 8 ス (クー 企

静岡 終了することを受けて、 活動を展開することを 部が主催して全教的に 伝統もあるので自主的 一教区としては長い

れた。 務部より表統領宛の願 は、 年通り、 表明。 を開催する旨を発表さ この度、 動 この度、本部の教また教務部から そして三月に例 子育て講演会 いくことを

い の 書式が変更された旨発 書(主に宗教法人課扱 願書)について、

> 加えられた。 提出の年であ 出の年であることも 、任役員変更届

これにより議事が成立 会議出席者数を発表、 区長の手により親神様、 したことを報告後、 最後に書記より全体 祖霊様を礼拝

日頃はなかなか手の届れてから!! 西駿支部は、尭書う・・・四日恒例の教務支庁の大掃除を行っている。一四日恒例の教務支庁の大掃除を行っている。 てから長年にわたり教務支庁西駿支部は、焼津市に教務支 (小池善彦支部長)は、 焼津市に教務支庁設置 届 かぬ 蛍 の大掃 光 った。 管

除など神殿棟、のから拭き、窓際、二階神殿の 除、 から拭き、窓ば二階神殿の男 ガ

員三十余名が勇 婦人会員、 で参加した。 支部内の教会長、 青年会

修棟

0)

掃



